

2022年11月4日

千教組闘争速報 17号①

教育政策・研修等に関する県教委交渉

各支部長様
各専門部長様

千葉県教職員組合中央執行委員長 渡邊 郁哉

子どもたちと向き合う時間を確保するために 研修の精選・削減を強く求める！

千葉県教職員組合は10月31日、櫻井書記長をはじめとする中央執行委員及び各専門部と各支部の代表者の参加のもと、千葉県教育委員会と「教育政策・研修等に関する交渉」を行いました。

今回の交渉から、今までの研修に加え、教育政策についても要求を行いました。中でも特に、①学びの未来デザインシートのあつかいについて、②全国学力学習状況調査に関する指導・助言について、③部活動の地域移行について、④研修レポートを実施するための時間の確保および精選・軽減、等を中心に具体的な要求をするとともに、学校現場の実態を訴え、改善を求めました。また、市原市支部・東葛支部の参加者から、学校現場の実態を訴え、改善を求めました。

< 県教委からの主な回答 >

- 令和3年度の予備調査で得られた結果を基に、問題構成や難易度を調整するとともに、より授業改善や子どもたちの意欲向上に結び付くようなフィードバックの在り方について、検討をしているところである。
- 「教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てること。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること」といった全国学力・学習状況調査の目的が達成されるよう、基本方針について研修会や文書による周知を今後も行っていく。
- 県教育委員会では、教員や生徒、保護者のニーズに寄り添いつつ、教員の働き方改革の視点で部活動の地域移行に取り組めるよう、市町村教育委員会に助言していく。文化部活動の地域移行については、地域や学校の実態を把握した上で、部活動の地域移行に向けての準備を進めていく。
- 今後とも、eラーニングの講座視聴について、授業時間内に校内で受講ができるよう周知に努めていく。

交渉後、千教組を代表して櫻井書記長が、「千教組は今日までの県教委の方々の迅速かつ柔軟な研修等への対応・配慮について感謝している。しかし、現場の教職員は、子どもと生活をしながら、一人ひとりの未来を想像し、今、どんな力をつけてあげることがいいのか、最も必要な時間はなにかを常に自問自答しながら、毎日の授業、各行事等を行っている。その結果多くの教職員は、自分の時間を削っている。全国学調では、4月の大切な時期に事前練習をしたり、点数や平均点に意識がいたりすることをどのようにとらえているのか。関係機関に指導・指摘をしていただきたい。学びの未来デザインシートについては、疑問を持っている教職員が私たちの調査では多い。この事業費を専科、サポーターなどの職員に増額した方がありがたいと思っている教職員がいる。納得のいくきちんとした周知が必要である。最後に研修については、今後も教職員のニーズに耳を傾けていただき、現場が情報を得やすくなるとりくみの継続をお願いしたい。教職員が自信を持ち、何より気持ちにゆとりを持って教育活動を進められるようにしていただきたい。」と力強く訴えました。

千葉県教職員組合は、交渉で確認したことを具体的に改善させるために、今後も県教委との折衝にとりくんでいきます。ご支援、ご協力をお願いいたします。交渉内容の詳細は後日発行の速報②を参照してください。